

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	土地利用計画推進事業	会計	一般会計	事業No.	546	施策順No.	47-002	
		事業種別	政策・重点	予算科目	8-4-1-10-5			
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり			課等名	地域計画課			
施策	47 計画的な空間利用の推進			事業期間	開始	13	終了	29

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	① 飯田市内全域 ② 市民・事業者・行政					A:十分達成した B:どちらかといえば達成した C:どちらかといえばできていない D:ほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)					
	意図	① 飯田市の土地利用の目標や基本的な方針が定まり、また、土地利用関係制度の総合的・一体的な整備により、計画的な土地利用が行なわれる ② 市民・事業者・行政が協働して取り組むことにより、一定のルールのもと、それぞれの役割分担に応じた計画的な土地利用が行なわれる					
	対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)					
		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
	飯田市面積(km <sup>2</sup> ) ※H18年度からは合併後の新市数値		658.76	658.76	658.76	658.76	
	飯田市の人口(人) (H20.10推計人口)		106630	106630	105036	107000	
		19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	23年度目標	目標達成度
	土地利用関係条例の制定(数)、国土利用計画、土地利用基本方針の策定数(累計)	8	9	10	10	10	A
	地域土地利用方針の策定数 全20地区(累計)	0	2	4	5	5	
22年度の目標達成度に対する振り返り 【政策的事業のみ評価】	目標とした地区について予定どおり完了した						

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	第5次基本構想、国土利用計画第2次飯田市計画に即し、平成19年度に策定した「飯田市土地利用基本方針」に基づき実施する事業。 1 土地利用関係計画(農業振興地域整備計画、景観計画、緑の基本計画)を一体的に策定・改正する。 2 地域の特性や個性を生かした地域づくりを進めるため、土地利用基本方針の全体方針に即し、地域土地利用方針の策定を進める。 3 これらの土地利用制度をバックアップするため、土地利用関係条例(土地利用調整条例、都市計画法施行条例、景観条例、緑の育成条例、屋外広告物条例)を制定・改正する。 4 都市計画区域・用途地域・都市計画施設(道路・公園等)などの都市計画の変更決定。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 土地利用関係条例・規則・要領の制定・改正 2 土地利用基本方針、景観計画、緑の基本計画の策定、改正 3 土地利用関係制度の普及・啓発 4 地区の検討組織を立ち上げ、地域土地利用方針の検討 5 土地利用基本方針に基づき運用(都市計画の変更等) 6 土地利用計画審議会及び都市計画審議会の運営	1 条例等制定改正数 2 計画等制定改正数 3 説明会等の開催数 4 地域計画・地区計画検討回数 5 都市計画決定・変更件数 6 土地利用計画審議会及び都市計画審議会の開催数	1 5件 2 1件 3 4件 4 63回 5 7件 6 3回
23年度実施計画	1 土地利用関係条例・規則・要領の制定・改正 2 土地利用基本方針、景観計画、緑の基本計画の策定、改正 3 土地利用関係制度の普及・啓発 4 地区の検討組織を立ち上げ、地域土地利用方針の検討 5 土地利用基本方針に基づき運用(都市計画の変更等) 6 土地利用計画審議会及び都市計画審議会の運営 7 都市計画基礎調査の実施	1 条例等制定改正数 2 計画等制定改正数 3 説明会等の開催数 4 地域計画・地区計画検討回数 5 都市計画決定・変更件数 6 土地利用計画審議会及び都市計画審議会の開催数 7 調査面積	

3 事業コスト

事業費	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項 [22特定財源] (そ) 諸収入 [23特定財源] (そ) 諸収入 (県) 都市計画基礎調査業務委託金
	国庫支出金				
	県支出金			2,642	
	起債				
	その他	210	241	210	
一般財源	9,465	8,471	10,790		
計(A)	9,675	8,712	13,642		
正規職員所要時間		4,500			
臨時職員等所要時間		200			
人件費計(B)		16,307			
トータルコスト A+B		25,019			

4 事業に対する市民や議会の意見

議会は土地利用計画の策定に関心を持っており、15年度に土地利用計画特別委員会を設けた。議会からは、リニア中央新幹線を踏まえた土地利用基本方針の策定や適切な土地利用を行っていくべきであること、地区計画の策定は、住民主体での検討を推進するよう指導を行うとともに策定のみならず後は「運用」も重視すべきとの提言がある。市民意識調査では、計画的で秩序ある土地利用の必要性が基本的には認識されている。地区懇談会のアンケートにも、飯田市の土地利用が適正ではないと感じている市民が多かった。特に農地に対しては、経営難・後継者難で土地利用転換への要求が強く、農業経営の維持と農地の保全には様々な意見がある。

**5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】**

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

**6 前期4年間の取組評価(総括)**

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	計画に基づく利用、整備の誘導をする。	施策の成果指標又はムトス指標	地域土地利用方針が策定された土地の面積 地区計画(都市計画)、協定(景観等)を締結されている数(累計)
この事務事業は施策の目的達成にどのよう に貢献しましたか	4年間の振り返り	平成19年度に、土地利用関係条例を制定及び土地利用基本方針を策定した。これに基づき、都市計画の決定・変更等を進め、計画的な土地利用の誘導に繋がっている。		
	後期に向けた課題	地域土地利用方針の策定に向けて取り組むとともに、各種土地利用制度のさらなる周知に努める必要がある。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	地区での協議の方法・回数や庁内調整会議の協議内容により、具体的な土地利用方針を細部に渡り検討した。また、計画実現のための手法についても、市民と一体となり(協働)協議し実行することで、住民自らの土地利用計画となることに繋がった。		
	後期に向けた課題	地域に根ざした土地利用計画を推進するために、地域別の土地利用方針策定に向けた地域の機運の向上をさらに図る必要がある。		
コストを削減するためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	都市計画の決定・変更に際しては、既存ストックのGISデータを活用するなどして、市職員が資料を作成することで、コストの削減を図った。		
	後期に向けた課題	計画策定にあたり、市民も含めいかに能率的に討議していくかが課題である。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	受益者は市民であり行政である。また土地利用計画は、市民と行政が協働で検討し、市が策定するものである。このように市民と行政の適切な役割分担に基づき協働によるまちづくりの取り組みがなされている。		
	後期に向けた課題	引き続き、市民と行政の適切な役割分担を行う。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしてきましたか、又は、配慮してましたか	4年間の振り返り	①土地利用計画は、市民と行政が協働で検討し、市が策定するものである。市民と一体となり(協働)協議し実行することで、住民自らの土地利用計画となっている。 ②行政は、地域での会議で協議を進める中で側面から支援するとともに、計画実現のための手法について、庁内調整会議や関係機関との協議を行い、地域の目指す姿を具現化できるように整合を図った。また、策定した計画の周知と地域が運用していくために側面から支援した。		
	後期に向けた課題	今後も、市民と一体となって計画的な土地利用を推進していくために、地域の土地利用方針の検討組織の立ち上げについて、まちづくり委員会などへ働きかけを行う。		
全体を通じて	4年間の振り返り	各地区の課題を解決するために地域土地利用方針を策定しようとする機運が高まり、またこれを主体的に運営しようとする地区の主体ができつつある。また、関係団体などに向けて講習会等を開催し、各種土地利用制度の周知に努めてきたことによる成果が上がりつつある。事業の情報も事前に得られるため、地元との調整も自治振興センターを通じて行っている。計画策定後、土地利用調整条例に基づく届出は、164件であった。		
	後期に向けた課題	大型事業を踏まえて、土地利用基本方針等の見直しを行い、適切な土地利用が図られるよう規制・誘導を検討する。		

**7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認**

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

**8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画**

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------